

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2022年3月25日から2024年9月27日（当初2032年2月25日）までです。
運用方針	外国投資信託証券を通じて、主として世界（日本と新興国を含みます。）の金融商品取引所に上場（上場予定を含みます。）するリートおよび不動産関連株式（D R（預託証券）を含みます。）を投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	明治安田Nextグローバル・リート（資産成長型） ルクセンブルク籍外国投資信託証券（円建て）「JANUS HENDERSON HORIZON GLOBAL PROPERTY EQUITIES FUND CLASS Z SHARES (YEN/MONTHLY INC)」および「明治安田マネープール・マザーファンド」を主要投資対象とします。
	JANUS HENDERSON HORIZON GLOBAL PROPERTY EQUITIES FUND CLASS Z SHARES (YEN/MONTHLY INC) 主として世界（日本と新興国を含みます。）の金融商品取引所に上場（上場予定を含みます。）するリートおよび不動産関連株式（D R（預託証券）を含みます。）を投資対象とします。
	明治安田マネープール・マザーファンド 国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにCD、CP、コールローン等の国内短期金融資産を主要投資対象とします。
組入制限	株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
分配方針	年2回（2月、8月の18日。休業日の場合は翌営業日。）決算を行い、原則として以下の方針に基づいて分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市場動向等を勘査して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 ③収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設げず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

# 明治安田Nextグローバル・リート (資産成長型)

## 償還運用報告書(全体版)

<線上償還>

第6期（信託終了日 2024年9月27日）

受益者のみなさまへ

平素は「明治安田Nextグローバル・リート（資産成長型）」にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、信託約款の規定に基づき、償還の手続きを行い、2024年9月27日に線上償還いたしました。

ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

長い間ご愛顧賜り、厚くお礼申し上げます。

MYAM 明治安田アセットマネジメント株式会社

東京都千代田区大手町二丁目3番2号  
ホームページ <https://www.myam.co.jp/>

〈運用報告書のお問い合わせ先〉  
サポートデスク 0120-565787  
(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配額)	債券組入比率				投資信託組入比	純総資産額
		税分	込配	み期騰	中率		
2期(2023年2月20日)	円 銭 9,301		円 0	% △9.4		% 0.3	% 97.7
3期(2023年8月18日)	9,346		0	0.5		0.3	97.0
4期(2024年2月19日)	9,910		0	6.0		0.2	98.4
5期(2024年8月19日)	10,558		0	6.5		0.5	97.5
(償還時)	(償還価額)						
6期(2024年9月27日)	10,722.37	—		1.6		—	804

(注1) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注2) 当ファンドは、外国投資信託証券を通じて、主として世界（日本と新興国を含みます。）の金融商品取引所に上場（上場予定を含みます。）するリートおよび不動産関連株式（D R（預託証券）を含みます。）へ投資します。特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、適切に比較できる指標がないため、ベンチマークおよび参考指標は設定しておりません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

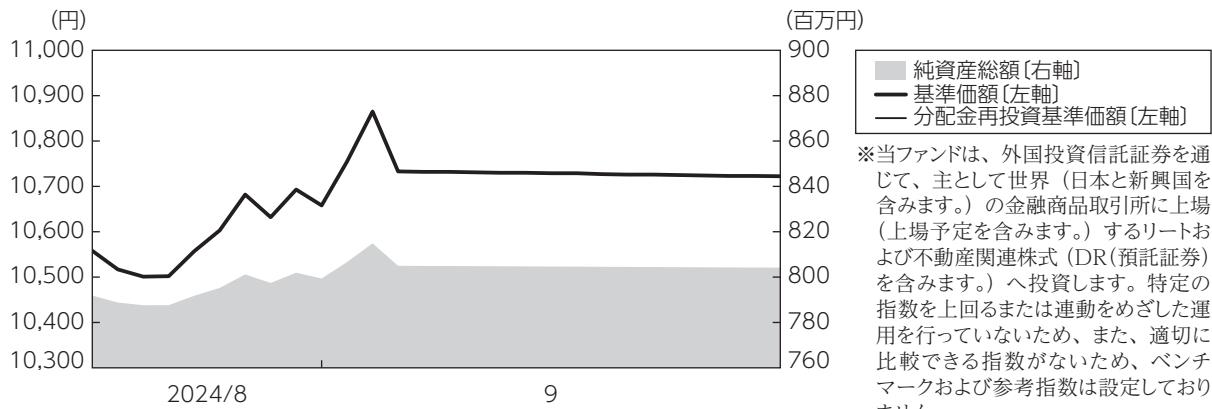
年月日	基準価額	債券組入比率		投資信託組入比	純総資産額
		騰落率	率		
(期首) 2024年8月19日	円 銭 10,558		% —	% 0.5	% 97.5
8月末	10,658		0.9	0.5	97.6
(償還時) 2024年9月27日	(償還価額) 10,722.37		1.6	—	—

(注1) 謄落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

## 運用経過の説明

### ■ 基準価額等の推移



第6期首(2024年8月19日):10,558円

償還時(2024年9月27日):10,722円37銭(既払分配金一円)

騰落率:1.6%(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は分配金実績があった場合、分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

※騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ■ 基準価額の主な変動要因

ファンドの運用方針に従い、「JANUS HENDERSON HORIZON GLOBAL PROPERTY EQUITIES FUND CLASS Z SHARES (YEN/MONTHLY INC)」（以下「外国投資信託証券」ということがあります。）および明治安田マネープール・マザーファンドに投資を行いました。投資対象資産の価格変動等による基準価額の変動要因は以下の通りとなりました。

組み入れている外国投資信託証券の基準価額（分配金再投資ベース）が上昇したことにより、当ファンドの基準価額も上昇しました。

## ■ 投資環境

### リートおよび不動産関連株式

当期のリートおよび不動産関連株式相場は上昇しました。一部の良好な景気指標の発表、また2024年8月のジャクソンホールの年次経済シンポジウムにおいてF R B（米連邦準備制度理事会）のパウエル議長が発したコメントの内容を受けて、米国経済のソフトランディング（軟着陸）は可能とする見方が広がり、リートおよび不動産関連株式相場は堅調に推移しました。9月にはE C B（欧州中央銀行）の利下げ実施やF R Bの利下げ期待から中旬にかけて騰勢を強めました。その後、F R Bの金融政策の道筋に関する不確実性や欧州の景気低迷が重しとなり、期末まで膠着状態が続きました。

### 外国為替

当期の米ドルは円に対して下落しました。F R Bによる大幅利下げを警戒し下落基調となるも、その後F O M C（米連邦公開市場委員会）で市場予想通りの0.50%の利下げが決定され、日銀が早期の追加利上げに慎重な姿勢を示したことなどから、米ドルは買い戻されましたが、期末には国内新政権は金融政策正常化に前向きとの見方から反落しました。

当期のユーロは円に対して下落しました。欧州経済の不透明感が強まる中、下落基調となりましたが、E C B総裁の発言が市場の予想ほど金融緩和に前向きではないと捉えられたことや、日銀が早期の追加利上げに慎重な姿勢を示したことなどにより、ユーロは買い戻されました。しかし、期末には米ドルと同様の理由で反落しました。

## ■ 当該投資信託のポートフォリオ

### 明治安田Nextグローバル・リート（資産成長型）

期首の運用方針に基づき、外国投資信託証券への投資比率を高位に保ちました。また、明治安田マネーパール・マザーファンドを組み入れた運用を行いました。なお、償還により、2024年9月中旬までに外国投資信託証券とマザーファンドをすべて売却し安定運用に切り替えました。

### 外国投資信託証券

外国投資信託証券のポートフォリオについては、ジャナス・ヘンダーソン・インベスタートス・ジャパン株式会社より提供された情報等を基に明治安田アセットマネジメントが作成しています。

当期は良好な事業環境、優れた経営体制、強固な財務基盤を備え、安定した配当収益の獲得と長期的な成長性を持つ銘柄に着目して銘柄選択を行いました。

地域別では、引き続き、米国を中心にアジア・太平洋、欧州をバランスよく組み入れました。欧州、アジア・太平洋の比率を引き下げ、北米の比率を引き上げました。

セクター別では、引き続き、工業用不動産投資信託、店舗用不動産投資信託、住宅用不動産投資信託セクターを高位に保有しました。ヘルスケア不動産投資信託やオフィス不動産投資信託などの比率を引き下げた一方、住宅用不動産投資信託や店舗用不動産投資信託などの比率を引き上げました。

以上の運用を行った結果、外国投資信託証券の基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。主な変動要因は以下の通りです。

#### (上昇要因)

- ・国・地域別：欧州がプラスに寄与したこと
- ・セクター別：各種不動産事業がプラスに寄与したこと

#### (下落要因)

- ・国・地域別：北米とアジア・太平洋がマイナスに影響したこと
- ・セクター別：工業用不動産投資信託や不動産運営会社がマイナスに影響したこと

### 明治安田マネーパール・マザーファンド

期首の運用方針に基づき、安定した収益の確保を目指して残存期間が比較的短い政府保証債を組み入れた運用を行いました。

## ■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

- 当ファンドは、外国投資信託証券を通じて、主として世界（日本と新興国を含みます。）の金融商品取引所に上場（上場予定を含みます。）するリートおよび不動産関連株式（D R（預託証券）を含みます。）へ投資します。特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、適切に比較できる指標がないため、ベンチマークおよび参考指標は設定しておりません。

## お知らせ

該当事項はございません。

## ○設定以来の運用経過

(2022年3月25日～2024年9月27日)

## 1. 基準価額と収益分配金



※分配金再投資基準価額は分配金実績があった場合、分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額は、設定時10,000円で始まり償還日10,722円37銭で終わりました。騰落率（分配金再投資ベース）は+7.2%でした。設定以来お支払した分配金はございませんでした。なお、収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行いました。

## 基準価額の主な変動要因

ファンドの運用方針に従い、「JANUS HENDERSON HORIZON GLOBAL PROPERTY EQUITIES FUND CLASS Z SHARES (YEN/MONTHLY INC)」（以下「外国投資信託証券」ということがあります。）および明治安田マネープール・マザーファンドに投資を行いました。投資対象資産の価格変動等による基準価額の変動要因は以下の通りとなりました。

組み入れている外国投資信託証券の基準価額（分配金再投資ベース）が上昇したことにより、当ファンドの基準価額も上昇しました。

## 2. 投資環境

### リートおよび不動産関連株式

リートおよび不動産関連株式相場は設定來で下落となりました。インフレ抑制策として主要中央銀行が金融引き締めを加速させた中、金利上昇が嫌気され、リートおよび不動産関連株式相場は2022年秋口まで下落基調で推移した後、2022年末にかけて堅調なテナント需要や主要中央銀行の利上げ休止期待などから反発しました。しかし、根強いインフレを受けて利上げ休止観測が後退し、2023年春先まで反落しました。その後も高金利の長期化懸念から徐々に下落しましたが、10月にインフレの鈍化傾向が示されたことを契機に反発しました。2024年6月頃までは、主要中央銀行の利下げ転換の可能性に対する思惑から膠着感のある展開となりましたが、米国や欧州が利下げ局面に向かう可能性が高まると、金利低下を追い風にリートおよび不動産関連株式相場は大きく上昇しました。

## 3. 運用経過

### 運用概況

#### 明治安田Nextグローバル・リート(資産成長型)

運用方針に基づき、外国投資信託証券への投資比率を高位に保ちました。また、明治安田マネーブール・マザーファンドを組み入れた運用を行いました。

償還のため、9月中旬までに外国投資信託証券とマザーファンドをすべて売却し安定運用に切り替えました。

### 外国投資信託証券

外国投資信託証券のポートフォリオについては、ジャ纳斯・ヘンダーソン・インベスタートーズ・ジャパン株式会社より提供された情報等を基に明治安田アセットマネジメントが作成しています。

設定來、良好な事業環境、優れた経営体制、強固な財務基盤を備え、安定した配当収益の獲得と長期的な成長性を持つ銘柄に着目して銘柄選択を行いました。地域別では、米国を中心にアジア・太平洋、欧州をバランスよく組み入れました。

以上の運用を行った結果、外国投資信託証券の基準価額(分配金再投資ベース)は上昇しました。主な変動要因は以下の通りです。

#### (上昇要因)

- ・国・地域別：アジア・太平洋が大きくプラスに寄与したほか、北米と欧州もプラスに寄与したこと
- ・セクター別：各種不動産投資信託やヘルスケア不動産投資信託がプラスに寄与したこと

#### (下落要因)

- ・セクター別：住宅用不動産投資信託や店舗用不動産投資信託がマイナスに影響したこと

### 明治安田マネーブール・マザーファンド

運用方針に基づき、安定した収益の確保を目指して残存期間が比較的短い政府保証債を組み入れた運用を行いました。

## ○ 1万口当たりの費用明細

(2024年8月20日～2024年9月27日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 20	% 0.188	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×期末の信託報酬率
(投信会社)	(11)	(0.102)	ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類の作成等の対価
(販売会社)	( 9 )	(0.082)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内のファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 0 )	(0.004)	ファンド財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他の費用	0	0.001	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	( 0 )	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	20	0.189	
期中の平均基準価額は、10,658円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

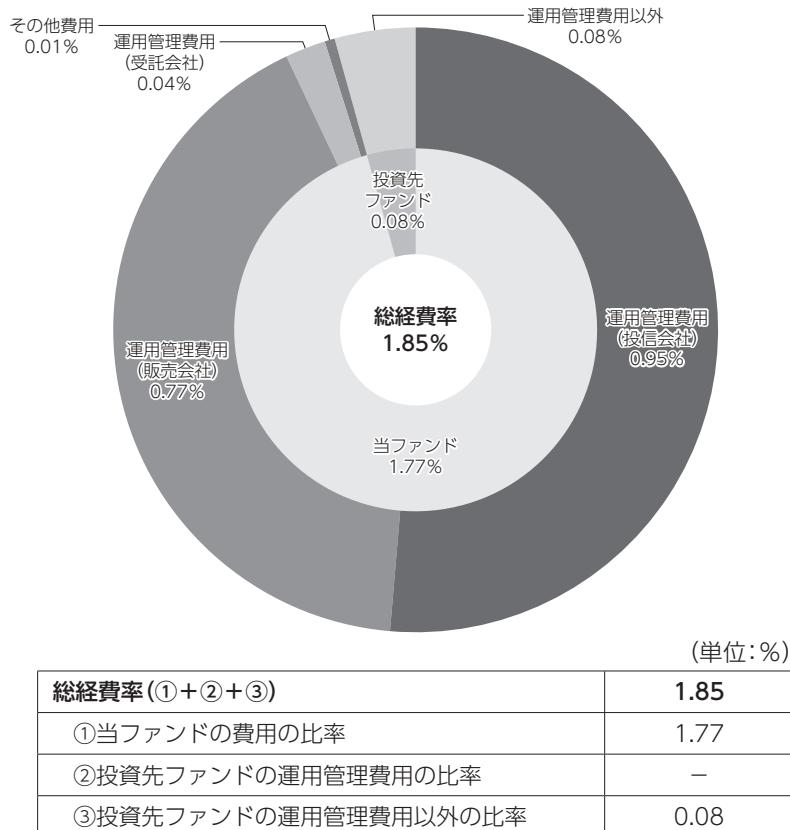
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

## (参考情報)

## ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.85%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 投資先ファンドの運用にかかる報酬（管理費用等）は、委託会社が受け取る信託報酬の中から支払われるものとし、その報酬額は当ファンドにかかる外国投資信託証券の純資産総額に対し年0.6%の率を乗じて得た額です。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2024年8月20日～2024年9月27日)

## 投資信託証券

銘 柄	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
国内 JANUS HENDERSON HORIZON GLOBAL PROPERTY EQUITIES FUND CLASS Z SHARES (YEN/MONTHLY INC)	口 一	千円 —	口 69,264	千円 783,444

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
明治安田マネープール・マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 5,000	千円 4,994

(注) 単位未満は切り捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2024年8月20日～2024年9月27日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2024年9月27日現在)

2024年9月27日現在、有価証券等の組み入れはございません。

## ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄	期首(前期末)	
	口	数
JANUS HENDERSON HORIZON GLOBAL PROPERTY EQUITIES FUND CLASS Z SHARES (YEN/MONTHLY INC)	口	69,264
合 計	口	69,264

## 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	
	口	数
明治安田マネーブール・マザーファンド	千口	5,000

(注) 口数の単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 805,689	% 100.0
投資信託財産総額	805,689	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

## ○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2024年9月27日現在)

項目	償還時
(A) 資産	円
コール・ローン等	805,689,207
未収利息	805,676,010
13,197	
(B) 負債	1,511,652
未払信託報酬	1,506,956
その他未払費用	4,696
(C) 純資産総額(A-B)	804,177,555
元本	750,000,000
償還差益金	54,177,555
(D) 受益権総口数	750,000,000口
1万口当たり償還価額(C/D)	10,722円37銭

(注1) 当ファンドの期首元本額は750,000,000円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は0円です。

(注2) 1口当たり純資産額は1.072237円です。

## ○損益の状況 (2024年8月20日～2024年9月27日)

項目	当期
(A) 配当等収益	円 2,406,731
受取配当金	2,299,943
受取利息	106,788
(B) 有価証券売買損益	11,432,633
売買益	11,432,633
(C) 信託報酬等	△ 1,511,652
(D) 当期損益金(A+B+C)	12,327,712
(E) 前期繰越損益金	41,849,843
償還差益金(D+E)	54,177,555

(注1) 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は期末の評価換算によるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C) 信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

## ○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2022年3月25日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2024年9月27日		資産総額	805,689,207円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	1,511,652円
受益権口数	1,500,000,000口	750,000,000口	△750,000,000口	純資産総額	804,177,555円
元本額	1,500,000,000円	750,000,000円	△750,000,000円	受益権口数	750,000,000口
每計算期末の状況				1万口当たり償還金	10,722円37銭

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	1,500,000,000円	1,540,024,437円	10,267円	0円	0%
第2期	1,500,000,000	1,395,155,038	9,301	0	0
第3期	1,500,000,000	1,401,850,911	9,346	0	0
第4期	1,500,000,000	1,486,491,471	9,910	0	0
第5期	750,000,000	791,849,843	10,558	0	0

## ○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金(税込み)	10,722円37銭
----------------	------------

◇償還金は、償還日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。